

志の高い医師の力を PMDAは求めています

- ・ PMDAは2004年に設立された非公務員型独立行政法人であり、主に審査等業務、安全対策業務、健康被害救済業務を行っています
- ・ PMDAでは、「臨床医学担当職員」として50～60名程度の医師が常時勤務しています
- ・ 臨床医学担当職員は、承認審査、安全対策、副作用被害救済等の業務を、臨床経験に裏打ちされた最新の知見に基づいて検討する役割を担います
- ・ PMDAで、「4つのF」であるPatient First, Access First, Safety First, Asia Firstを共に目指す、志の高い医師を募集しています



PMDAは、医薬品の副作用や生物由来製品を介した感染等による健康被害に対して、迅速な救済を図り（健康被害救済）、医薬品や医療機器、再生医療等製品などの品質、有効性及び安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査し（承認審査）、市販後における安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う（安全対策）ことを通じて、国民保健の向上に貢献することを目的としています

新霞が関ビル（東京）へのアクセス



総合受付

東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

各駅の最寄り出口

路線	最寄り駅	出口
地下鉄銀座線	虎ノ門駅	11番出口、5番出口
地下鉄日比谷線・千代田線・丸の内線	霞ヶ関駅	A13出口
地下鉄千代田線・丸の内線	国会議事堂前駅	3番出口
地下鉄南北線・銀座線	溜池山王駅	8番出口

お問い合わせ先（総務部・人事課）

電話 03-3506-9427
E-mail saiyo@pmda.go.jp
HP <https://www.pmda.go.jp/recruit/0672.html>



臨床医学担当 （医師）

募 集

PMDA

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
Pharmaceuticals and Medical Devices Agency

臨床医学担当職員として勤務しませんか？

臨床医学担当職員は、薬学、統計、毒性等の多様な専門性を有するチームの一員として、審査等に從事することで、臨床試験の有効性や安全性の評価方法、データの解釈、実臨床への適用や情報提供の方法などを、臨床経験に裏打ちされた最新の知見に基づいて検討する役割を担います



どうすればPMDAで勤務できますか？

臨床医学担当職員には、①技術系専門職任期付職員（臨床医学担当）、②技術系専門職職員（臨床医学担当）、③大学等からの人事交流があります。いずれにおいても、専門分野における十分な臨床経験を有し、専門医等を取得済みである方を対象とします

1 技術系専門職任期付職員（臨床医学担当）

- 臨床試験の実施や評価に関心があり、PMDAの勤務を経験したいと考える方を対象とします
- 勤務期間は原則3年間です
- その時々PMDA業務の必要性に応じた専門性・診療科に基づいて公募を行います

2 技術系専門職（臨床医学担当）

- 博士号についても取得済みであって、既に臨床試験の実施や評価に関する十分な知識と経験があり、PMDAの業務全般に強い関心と意欲を持っている方を対象とします
- 適性がある場合には、将来PMDAの運営等にも携わって頂きます
- 原則としてPMDA経験者の採用となります

3 人事交流

- 大学等の人事交流元への帰任後に臨床試験分野でのリーダーを目指す方であって、法人間で締結する出向契約に基づいて出向できる方を対象とします
- 人事交流期間は原則3年間（希望があれば2年間）とし、人事交流元の大学等が、人事交流期間終了後の当該大学等での勤務について責任を持って対応頂くことを条件としております

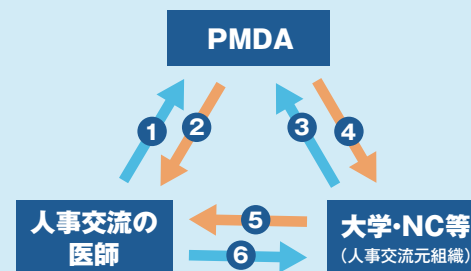
人事交流について



- PMDA では、臨床開発・臨床研究の推進を行う大学、医療機関から PMDA への医師・歯科医師の人事交流を推進しています！
- PMDA は国内で唯一無二の役割を担っている公的機関です。PMDAでの勤務経験により、臨床現場では得られない開発、審査等の考え方を学ぶことができるため、臨床開発・臨床研究分野でのキャリアを考える医師にとって特別な機会となります
- 人事交流元においては、PMDA への継続的な人事交流により、専門人材の計画的育成が可能となり、出口戦略を明確化した質の高い治験・臨床研究の推進や、組織基盤の強化等につなげていただくことができます
- 既に、多くの PMDA 勤務経験者が、臨床開発・臨床研究を推進するリーダーや専門人材として活躍し、研究成果の実用化や医療環境の発展に大きく貢献しています！
- 人事交流を検討する大学等の方からのお問い合わせには、担当の職員（医師）が個別にお問い合わせに応じますのでご連絡ください（人事交流を希望する御本人からの問い合わせには原則として応じかねますので予めご了承ください）

臨床医学担当の人事交流モデル

～全ての関係者が持続的に価値を享受できる組織的関係性～



- 医療現場における最新の専門知見に裏打ちされた知的労働力の提供
- 今後のキャリアにつながる知識・経験獲得の場を提供
- 継続的・計画的な質の高い人材の供給
- PMDAでしかできない人材育成を提供（人事交流元の組織能力強化に寄与）
- 人事交流元の高次戦略に基づく成長機会の提供（復帰後のキャリア形成を支援）
- 帰属意識の向上（人材流出の防止）

職場としてのPMDAを強くお勧めする三つの理由

理由① PMDAは職員が成長できる職場です！

- 多くの製品の開発過程に対応、深く広い知識や専門性を習得
- 論文調査能力、文書作成能力、説明能力の獲得
- 薬学、理学、工学、獣医学、生物統計、医学など多くの専門性が集まり、刺激を受けながら業務を通じて成長

理由② PMDAは職員の研究意欲を応援します！

- 研究支援制度があり、査読付き論文執筆を後押ししてくれる
- 学会への参加・発表
- AMED研究への参加のチャンスがある

理由③ PMDAは多様な働き方を推進しています！

- フレックスタイム制およびテレワークが定着
- 女性の管理職の割合が2割以上、今後も増加の見通し
- 仕事のスケジュールが見通しやすく有給休暇も充実

PMDAの職員が実感する仕事のやりがい

- 自分のアイディアや日々の仕事の成果が、国民全体の医療・生活を進歩させている
- 国内外のアカデミアの権威、専門家と人脈を形成
- 国の医薬品等の政策づくりに関わるスケールの大きさ などなど

